

令和元年度年度事業報告書
(令和元年年7月1日から令和2年6月30日まで)

特定非営利活動法人エル・コミュニティ

1 事業の成果

鯖江市の提案型市民主役事業化制度により受託している鯖江市地域活性化プランコンテストの第12回を開催。地元の高校生と全国の大学生の混合チームが、鯖江の未来を創造するプランを発表。

1チームのプランがすぐに実現。他、高校生が起業体験をするイベントを実施。

観光庁が新たに後援して下さり、また過去最多の企業60社以上がスポンサーになってくださった。

Hana道場の運営では、企業と連携した民間単独での運営方法や、様々な機会の創出と人材育成が総務省のモデルとなり、代表竹部が「地域におけるIoTの学び推進事業」の評価委員として参加中。

「IT」の事業としては、IchigoJamを使ったBASIC言語での子ども向けプログラミングスクールは継続して開催。鯖江市の「クリエイティブ教育都市事業」を受託し、継続して鯖江市内全ての小学校で実施しているプログラミングクラブに講師を派遣。派遣する講師を育成する大人向け講座も人気講座になり、特に女性の方に多く受講を頂いている。小学4年生の総合学習の時間にプログラミング体験の授業を実施した。学校教育の中にプログラミング教育を導入する一つの実証実験として行っている。そこまで難しく考えず、子どもたちが「またやりたい!」という気持ちを作っておくこと、そしてその環境を整えてあげることが一番大事だと考える。2019年7月にはKDDI株式会社とプログラミング教育の環境整備および、教育人材の育成に向けた包括的パートナーシップを構築。KDDIの持つ全国のネットワークを活用し、鯖江市で成果を上げている産官学連携プログラミング教育モデル(Hana道場モデル)を全国に展開。今年度は福島県磐梯町、福井県小浜市でプログラミング体験会を実施した。

2020年4月には市内外の人々が集いコミュニティを形成し相互に新たな挑戦を支援し合う「場」の創出を目的としたコミュニティシェアオフィス「Hana Innovation Lab.」(「Hana工房」)を開設。東京のIT企業1社の入居があり、地元の方を2名雇用していただいている。Hana工房の改修費の一部は県の中心地賑わい創出関係補助金を活用した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

| 定款の事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数 | 受益対象者の範囲および人数 |
|--------------------------|---|----------|------|--------|---------------|
| 若者が提案する地域活性化のための企画の支援事業 | 鯖江市地域活性化プランコンテスト | 7/1～3/30 | 鯖江市 | 3人 | 市内外 200人 |
| 地域力向上を目的とした地域ブランドの創出支援事業 | プログラミングスクール Hana道場 ブランド推進事業 IT推進 Hana工房 | 通年 | 鯖江市 | 3人 | 市内外 300人 |
| 若者を対象とした地域活動への参加促進事業 | 学生団体 with サポート | 通年 | 鯖江市 | 3人 | 市内外 30人 |

(2) その他の事業

該当なし

3 理事会および総会に関する事項

| 理事会 総会 | 実施日時 | 実施場所 | 出席者数 | 議決事項 |
|-----------|-----------|------------------------|------|---------------------------|
| 総会 | 令和2年6月25日 | 鯖江市.Hana道場 オンラインと併用 | 6人 | 令和2年度事業計画・予算の件 新事業について |